

統計データから(令和元年度実績)

◆貸出人数

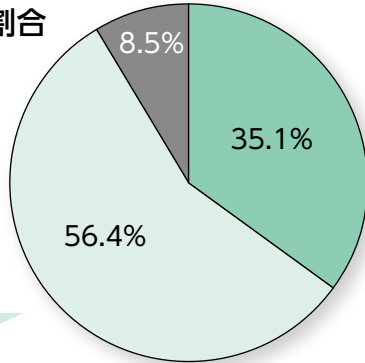
のべ…………… 34,683人
 正味…………… 3,802人

◆貸出冊数……………192,122冊

うち個人……………161,465冊
 うち団体(学校など)…………… 30,657冊

◆貸出冊数ジャンル別割合

- ……一般図書
- ……児童書・絵本
- ……その他



データを詳しく
 見てみると…

これからの 図書館の カタチカラ

第4回 データから見る 高浜市の図書館のスガタ②

高浜市において、これからの時代にふさわしい「図書館のあり方」(役割・必要な機能)について、『これからの図書館のカタチ・チカラ』と題して、『広報たかはま』などをとおして市民の皆さんとともに考えていきます。

今号では貸出人数や貸出冊数といった図書館の統計データを参考に今後の図書館のスガタを考えていきます。

📖 貸出人数(正味)の10%(約380人)が、約72,000冊を借りている。(個人向け貸出冊数の約45%)

📖 学校への貸出は約12,000冊で、貸出冊数の約6%となっている。

これからの図書館に大切なことは…?

利用状況から、読書好きな方の利用頻度が高いことがわかります。しかし、図書館の役割は、これまでもお伝えしたとおり「本の貸出しを行うこと」だけではありません。

図書館に行き「交わる・学ぶ・気づく」などのサポートを受けることも役割のひとつなのです。

本と触れあう機会を自然なカタチで皆さんにお届けし、「まちづくり」や「人づくり」も行っていくことが今後図書館のスガタを検討していくうえで大切な要素になるのではないのでしょうか。



▲なに?なに?発見隊バック関連企画「使われなくなった家電はどうなるの」のようす



子育て・子育てやこどもの読書活動をサポート

貸出冊数ジャンル別割合を見ると、子ども向け図書(絵本・児童書)が50%を超えて利用されており、先回お伝えした蔵書数と合わせて高浜市のつよみであることがわかります。

また、学校では近年、学校司書が配置され、図書館と協力しながら授業や朝の読書活動における図書館蔵書の活用機会が増えています。

ニュースなどでこどもの読書離れが取り上げられることもあります。高浜市は司書などのサポートにより、こども読書活動推進を担っている図書館のチカラがあります。

◆図書館での催しに関しては17ページに記載がある「図書館情報」や図書館公式ホームページ、フェイスブックおよびツイッターを確認してください。

◆今後も図書館の取組みなどについては『広報たかはま』でお知らせします。



▲ホームページ ▲フェイスブック ▲ツイッター

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎ 52-1111(内線331)